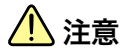


# 取扱方法



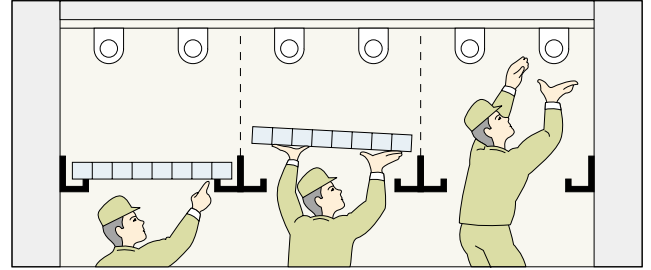
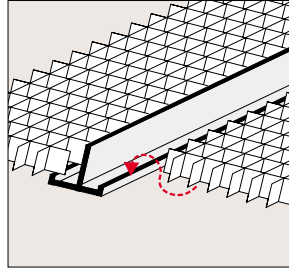
**注意**

パネルサイズの大きいものは取扱いに注意し、小口で手など切らないようヘルメット、厚手のキャップ、軍手等で保護してください。またできるだけ二人以上で作業をしてください。

## Tバータイプルーバーの取扱方法

アルミナス、カドラセル、クラウンテックス、スケアテックス、アングルセル、ラインテックス etc.

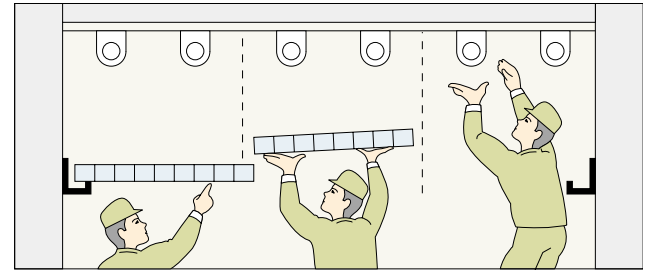
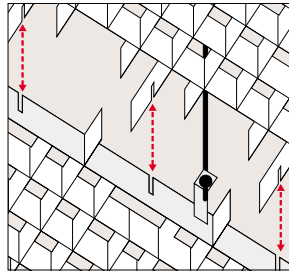
Tバータイプのルーバーは、アルミT型ランナーで格子組（標準寸法610mm×1,270mm）をし、ルーバーをのせる工法ですので、ルーバーは持ち上げるだけで簡単に取り外すことができます。  
(システムはP84をご参照ください。)



## シームレスタイプルーバーの取扱方法

イントラセル、カドリリア、クラウンセル、イントラテックス etc.

シームレスタイプのサスペンションシステムは、ハンガーランナー工法で目地が目立たないシームレスな仕上がりになります。  
(システムはP82をご参照ください。)



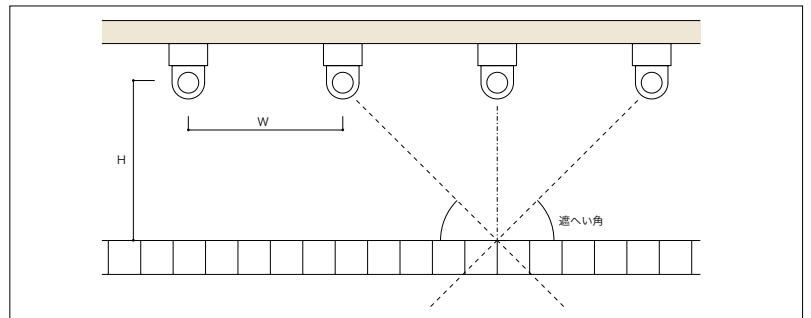
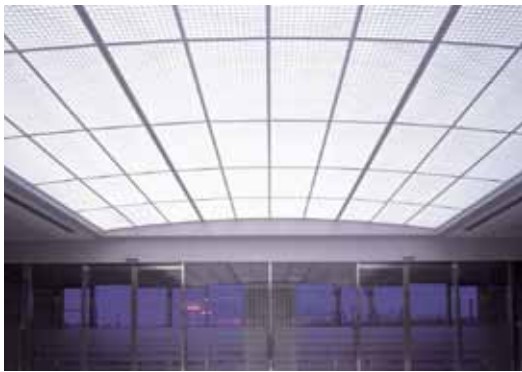
- パネル単位でどの部分からでも、何枚でも取り外すことができます。パネルサイズはルーバーの種類によって多少異なりますが、約600mm×600mmです。
- 約600mmピッチでセットされた吊りボルトにハンガーランナーが取り付けられています。このハンガーランナーの溝にルーバーパネルが落とし込まれ組み込まれているだけのシンプルなシステムです。(マグナグリッドの場合吊りボルトは630mm×1,260mmピッチとなります。)
- 吊りボルトの位置を確認してルーバー面を上押しするだけで簡単に取り外すことができます。

# 均一な明るさ感を得るための注意点

ルーバー照明のポイントは、天井全面をできる限り均一な明るさとし、光源を意識させないソフトな照明空間を創り出すことです。

## ① 光源とルーバーの間隔

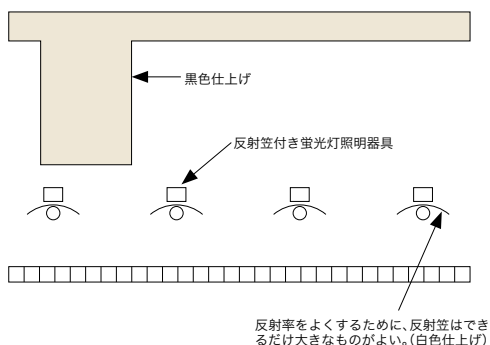
使用するルーバーの遮へい角を各商品ページで確認し、遮へい角上にランプの芯がくるように、光源の間隔 (W) と、ルーバーから光源までの距離 (H) を設定してください。ただし、(H) が300mm以下になりますと、上記算出設定になっていてもランプイメージが出ますのでご注意ください。



ルーバーの仕上色・プレナムの仕上げ、照明器具はできるだけ反射率がよくなるよう設定してください。

## ② プレナムの仕上げと照明器具

### ●スラブ直の場合



### ●二重天井仕上げの場合

